



中部電力

マルチコプターによる電力設備点検技術

# マルチコプターによる 電力設備点検技術

## 背景・目的

- 昨今、複数のプロペラを有するマルチコプターが普及し、その実用化へ向けた様々な研究が行われています。一方、当社においても、電力設備点検の省力化、効率化が求められています。しかし、マルチコプターの技術は歴史が浅いため、電力設備への適用にあたっては、安全性、信頼性を含め、性能、リスク等を正しく把握し、その可能性を評価しておく必要があります。



マルチコプター

## 特長

- 上空より設備を広範囲に見ることにより巡視点検の効率化が可能
- 高所、河川の対岸等、人が容易に近づけない場所での点検が可能
- 通常の静止画、動画撮影に加え、サーモカメラを搭載することにより設備の異常発熱、構造異常など診断能力が可能

## 用途

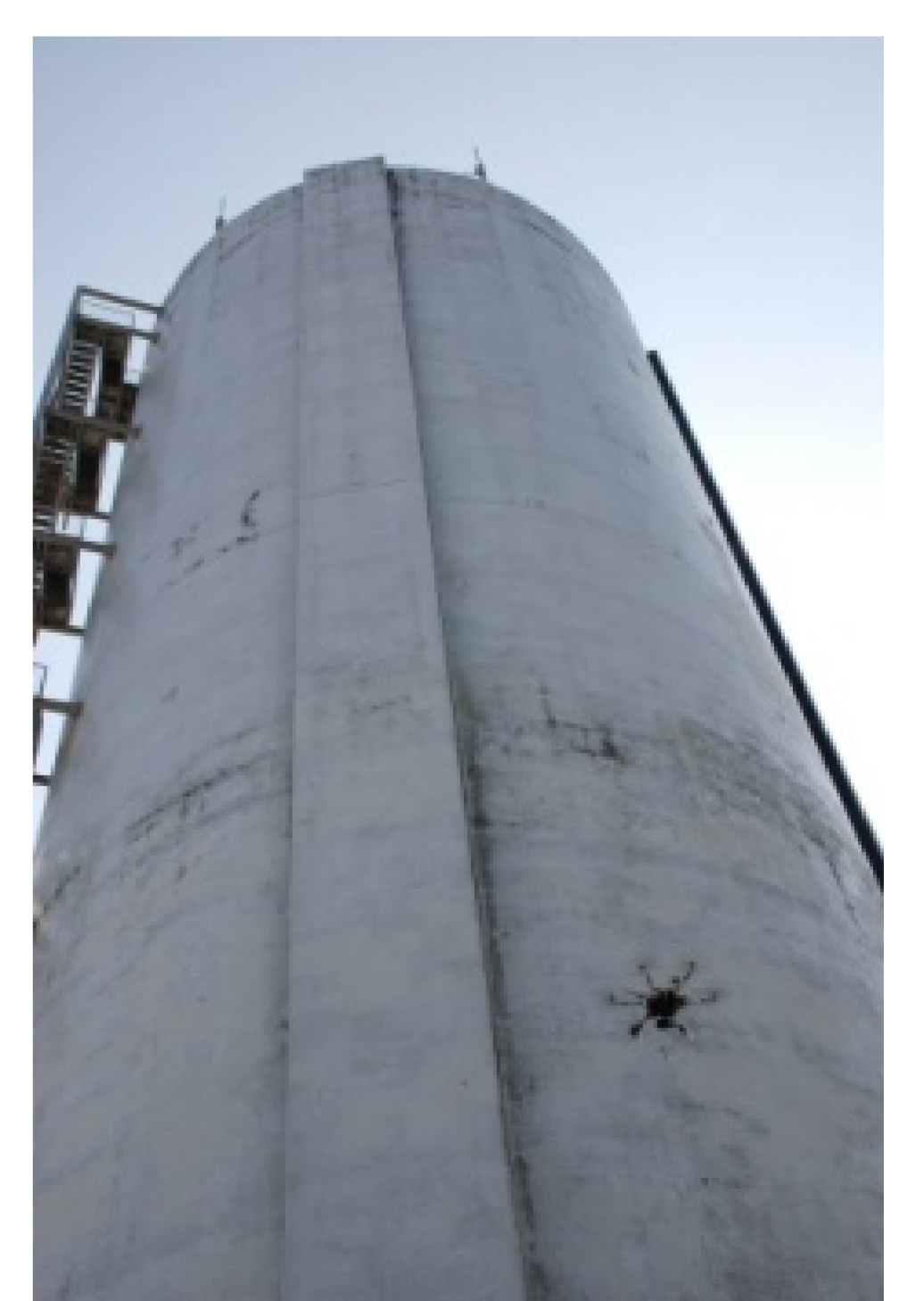
- 広大な敷地内に設置されているメガソーラーの点検
- 風力発電設備のブレード等の高所の点検
- 鉄塔など送電設備の点検
- 水力土木設備等、人が容易に近づけない場所での設備の点検



メガソーラーへの適用



風力発電所への適用



水力土木設備  
(調圧水槽) への適用

## 開発者の ひとこと

マルチコプター（ドローン）は、その利便性、簡便さが注目されていますが、一歩間違えると、墜落による設備被害等につながりかねません。そのようなことがないよう、マルチコプターの安全性、信頼性を含めた評価を進めています。